



# #元気いただきますプロジェクトNEWS

## ニッポンを元気にする取組みが全国で広がっています

### 地域の創意による販売促進事業

「#元気いただきます」プロジェクトは、農林水産省の「#元気いただきます」プロジェクトに参加し、2021年10月から21年1月までの期間中、「ふくしま食育推進プロジェクト」を実施した。県内の主要産地である農林水産業を応援するための取組みで、福島県産の和牛肉や果物を県内の子ども食堂や幼稚園などに提供した。「#元気いただきますプロジェクト」の支援プログラムの一つ「食育等推進事業」を通じて生産者を応援するとともに、「国産の恵み」を子どもたちに味わってもらい、食について考える食育の機会も創出した。

## 生産者との関係を深化

### 関門海



トラフグを「厚切り」してぜひ！とくなくおいしさを届けた

「天然シヤクハリスベシヤルウイ」では全コースの価格はそのままに、通常では養殖トラフグを提供するところ、すべて天然ものに代えて提供した。常連客でも初めて天然シヤクを食べるといふ人は多く、天然ならではの歯ごたえや風味が好評を博した。通販でも「国産トラフグ」を通常の「厚切り」で販売。この取組みは、2021年10月からは前年比10倍の売り上げとなり、会員数を底上げした。21年1月



山口久美子社長と通販部門を担う池田正之取締役商品・営業企画部部長

「山口久美子社長と通販部門を担う池田正之取締役商品・営業企画部部長」も想定以上の売上げとなり、これまでの取組みへの手応えを得ている。山口久美子社長は当初、「生産者への関係が、一層深まった」という感想を、「おこがましい」と感じていたという。しかし、取引先の水産業者から紹介を受けて「#元気いただきますプロジェクト」を「日本を代表する食材の一つ」として、いかに消費者においしく食べてもらうかを追求し、漁解禁期間中に天然トラフグの一本売りをテイルで販売する新たな取組みを創出。冷凍のものには出せない特別なおいしさで、さらなる国内食材のファンを創出する。

### 地域の創意による販売促進事業

## 窮状打破へ補助活用

### イヨスイ



協議会の取組みで養殖魚の取り扱いが着実に拡大している（写真は広島市の有力食品スーパー「鮮魚売場」）

「イヨスイ」は、養殖漁業全般を取り扱う総合商社で、産地での漁業者との密接な連携と活魚、鮮魚の冷凍など多様な販売網を構築し、産地から国内外に送る一気通貫の物流網を構築している。このことが最大の強み。特に近年は国内市場が縮小する中、漁業者を守るための輸出に活路を求め、展開を強化し、食フームと

進捗を進めている。イヨスイは、養殖漁業全般を取り扱う総合商社で、産地での漁業者との密接な連携と活魚、鮮魚の冷凍など多様な販売網を構築し、産地から国内外に送る一気通貫の物流網を構築している。このことが最大の強み。特に近年は国内市場が縮小する中、漁業者を守るための輸出に活路を求め、展開を強化し、食フームと

## 食卓の中心に養殖魚

### 相互扶助の力発揮

### 牛根漁業協同組合



牛根漁業協同組合は鹿児島県で初めてブリの養殖を手掛けた（写真は同組合事務所）

「牛根漁業協同組合は鹿児島県で初めてブリの養殖を手掛けた（写真は同組合事務所）」

### 相互扶助の力発揮

### 牛根漁業協同組合

「牛根漁業協同組合は鹿児島県で初めてブリの養殖を手掛けた（写真は同組合事務所）」



協元浩継参事

「協元浩継参事」

## ブランド認知が拡大

「ブランド認知が拡大」

## #元気いただきますプロジェクト

あなたのひとくちが、ニッポンを元気にする。

#元気いただきますプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響で行き先を失っている「国産食材」を食べて応援しよう！というプロジェクトです。

SNSや広報において、「#元気いただきます」「#元気エール」投稿でプロジェクトの広がりにご協力をお願いいたします。公式ウェブサイト等では、みなさんの投稿をご紹介します。

農林水産省  
maff.go.jp

